

一人ひとりの夢・思いを大切に 福祉 しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



かえで荘・かもめ園身体 園芸サークル 「品川カブ」特別敢闘賞 受賞!



目次

- (一) らうんじ
- (二) 平成30年度 基本方針・運営方針
- (三) 品川総合福祉センターの防犯対策
- (四) 「品川カブ」特別敢闘賞受賞・人権擁護研修
- (五) ボランティア紹介(宝寿会) 大井SC
しなふくの食事(かもめ園)
- (六) 豆知識/平成30年法人行事/しなふくの窓

関連記事 (四面)

らうんじ

寒かった冬を乗り越えて、やっと春がやってきました。京浜運河沿いには桜がきれいに咲いています。八潮団地ができたころは小さかった木が、三十五年を経て大きく枝を伸ばしています。耳をすませば鳥の声も多く聞かれ、つくづく「八潮の自然はいなあ」と思います。

春に思い出すのは新人の頃、上司が今年度の抱負として言っていた言葉です。それは「経験の積み重ねだけではない、自分自身の成長を図る。」と言うものでした。新人の頃は仕事を覚えるのに精いっぱいでも、月日を重ねていけば、ある程度はできるようになるものです。同じ職場で働き続けていれば、仕事を教える立場にもなります。でもその時に、自分が仕事ができるのは経験の積み重ねがあるからだけなのか、あるいは学ぶ機会を持ったか、資格を取ったかなど研鑽を積んだ結果なのかをよく考えなければならぬと思います。

それぞれの事業所に多くの新人職員、異動職員が入ってきます。一緒に新しい経験と学びをしていきたいと思っています。八潮在宅サービスセンター・八潮在宅介護支援センター 施設長 菊池 広美



本部園芸サークル、6階のベランダで、おしゃべりを楽しみながら・・・

平成三十年度を迎えるにあたり、品川総合福祉センター未来創造図（中長期基本方針・計画平成二四年作成）の五年間の検証を行い、その間に生じた重要課題を明らかにし、その解決に向け、平成三十～三二年度の三年間における「法人中期経営計画」を策定しました。

初年度としてその内容を平

社会福祉法人 品川総合福祉センター 平成三十年度基本方針・運営方針

成三十年度の法人、各施設の事業計画に反映し、法人全体で課題解決に取り組みます。



大井三丁目ゆうゆうプラザ
「ひなたぼっこ」で
世代を超えておはぎ作り

「重点課題」

（一）利用者サービスでは、過去の法人内の虐待行為を教訓に利用者の人権へ配慮し、障害特性の理解に基づいて利用者ニーズを中心に据えた支援と環境の提供を進めます。



プチレーブカフェ
（品川区中小企業センター一階）
「心を込めた一杯をどうぞ」

また、職員育成では、より専門性の高い支援と対人援助専門職としての人権意識、倫理観を身につけていきます。

（二）人材の確保、育成、定着において、社会全般の労働人口の減少により介護人材不足が顕著となる中、優秀な人材の採用、育成、定着に力を尽くします。

さらに次代を担う人材の育成を進めます。

（三）近來、介護報酬、支援費収入が伸び悩み、反して人件費関連費用が増大し、各事業とも収支バランスを確保することが困難になってきている。



大井三丁目ゆうゆうプラザ
「地域ミニデイ」適度な運動量で介護予防！

各事業とも加算等の制度対応を進め、引き続き稼働率向上、コスト削減に努力します。

特に特別養護老人ホームの収益、福祉工場しながらの各事業の売上の向上を目指します。

今年度は特にこれらの課題解決に取り組み、社会福祉法人として持続性を確かなものにしてまいります。

品川総合福祉センターの防犯対策

・・・防犯カメラ 設置しました。・・・



品川総合福祉センター本部施設では、本年一月から二月末までにかけ、防犯対策工事を国の補助事業を活用し、実施いたしました。



福祉センターの外構フェンス
リニューアル

ンターでは、防犯対策整備費補助である「障害者（児）施設防犯緊急対策事業」を活用し、東京都と繰り返し協議を進めながら、防犯対策工事を行うこととなりました。

今回の補助事業の対象は「設備整備に係る工事」と

「施設整備に係る工事」があり、当センターでは、防犯カメラ設置工事と外構工事等を行うこととしました。

当センターは、開所してから「地域と共に」というスローガンで地域に開かれた施設作りを行ってまいりました。

二〇一六年に発生した相模原市の障害者支援施設での事件を受け、国において防犯対策整備費補助に関する予算が確保されました。



駐車場東側 非常階段部分

できる生活の場の提供を進めることと、地域に開かれた施設として継続していくことを目指し、防犯対策工事の検討を進めました。

防犯カメラは、外周と出入り口部分を中心に設置工事を行っています。また、外構工事では、当センターが開設して以来更新をしていない外構フェンスの入れ替え等を行い、高さがあるフェンスへと変更しています。また、非常階段には扉を設置し、災害時の対応に支障が生じないように消防署とも協議を進めながら、外部からの侵入を防止できるようにしました。

本年一月から防犯対策工事を開始するにあたり、地域の

皆さまにはご理解とご協力を頂きました。また、工事最中には職員用駐



駐車場脇 緑道公園へ繋がる坂の外構フェンス

輪場の場所を変更するなどの調整も生じ、各職員及び各部署の協力を経て、無事に工事が完了し、品川総合福祉センター本部施設の防犯対策を進める事が出来たことに大変感謝しております。

品川総合福祉センターでは、これからも引き続き利用されている皆様方の安心と安全な生活の確保と、地域の皆さまと共に地域福祉力の向上がより一層進められるよう、事業展開を推進して参ります。



本部園芸サークル「品川かぶ」品評会で、 特別敢闘賞 受賞！



本部の園芸サークルでは、かえで荘ともめ園身体施設の園芸療法研修会の先生のご指導を受けながら、月に一回園芸を行っています。

「品川かぶ」との出会い、昨年一月に発行した、しなふくニュース一三〇号掲載の「しなふくさんぽ」の企画取材。そこで出会った、「品川かぶ」復興の第一人者、大塚好雄さんにおいでいただき、その際に伝統種と助言をいただきました。

その後、十二月に行われる「品川かぶ品評会」への出品を目指して、昨年九月に種付けを行い、栽培スタート。種はとも小さく、立派な

かぶに育つのか心配でした。夏の猛暑の中、利用者と職員は水やりと青虫とりに汗を流しました。

そして昨年の十二月二十三日、品川神社で行われた品評会には利用者を代表して、かもめ園身体の利用者二名と共に出かけました。約四十五の団体が出品する中、みごと当園芸サークルの品川かぶが「特別敢闘賞」を受賞。

品川かぶの絵が刻まれたクリスタルのトロフィーと、みかん一箱を賞品で頂きました。

「自分達だけでは無い、園芸サークルで力を合わせて作りました。」と、突然の受賞者インタビューで利用者の梶田さんが語ってくれました。

感動の一日でした。

人や地域との繋がりに感謝し、また新たな目標ができました。



品評会で活動を紹介しました

人権研修 実施

昨年十一月二十四日（金）に法人人権研修が品川区役所第三庁舎講堂で開催されました。講師には東洋大学非常勤講師で当法人の苦情解決第三者委員でもある大迫正晴氏をお迎えし、「権利擁護と人権」をテーマに、職員総勢百六十七名が参加しました。

講師の広島での学生時代のこと、福祉に携わることとなった経緯、当法人に関わりを持つたいきさつなど大迫講師の経歴紹介を皮切りに、社会福祉の歴史、福祉施設が陥り易い傾向、感情労働としての福祉現場、利用者の権利擁護の担い手として職員に求められるものなど、利用者の権利を守るためには職員が自分自身を大切にし、自分へのエンパワメントが必要など、人権擁護

感できた」「一方通行のコミュニケーションや押し付けの支援になっっていないか考えるようになった」「人権は大切に決まっている。虐待は悪いに決まっているけど具体的にどうすれば良いのか難しい」などの感想があり、日頃の支援を振り返り、自分を見つめ直す意味で有意義な時間となりました。

の本質について語られました。

参加者からは「一人ひとりが価値のある人達であることを実感できた」



講演「権利擁護と人権」のテーマで講演される大迫氏

ボランティア紹介 大井在宅SC【宝寿会】



時には自ら熱唱！

今回は、大井在宅サービスセンターでカラオケ応援隊のボランティアをして下さっている「宝寿会（ほうじゅかい）」の皆様をご紹介します。宝寿会とは、大井在宅サービスセンターがある大井四丁目の町会内の高齢者クラブの名前です。平成二十五年から継続して活動をして下さっていて、普段はカラオケの応援隊として来て下さっています。

ますが、その他デイサービスにつき大知症力フエの際にも協力して下さっています。総勢七名ほどのメンバーで、代表の清水さんを中心に、楽しく明るく私たちの活動を支えて下さっています。利用者の皆様も、宝寿会さんとのカラオケの時間を楽しみにされている方がたくさんいらっしゃいます。



「吉田さん、清水さん、吉田さん。皆様、最高のチームワーク！」

さらに、日頃の活動支援だけでなく認知症対応型通所介護の運営推進会議にも毎回出席して下さい、その際には地域の一員として貴重なご意見を頂いています。皆様気さくで、大井在宅サービスセンターにとつて、なくてはならない「縁の下の方持ち」となっています。これから末永く、よろしくお願い致します！

しなふくの食事

「かもめ園（身体・知的）」

「彩・楽・健」

二月三日（土）かもめ園身体部門の昼食の様子です。この日は節分。春の行事食が利用者に配膳されると、各テーブルから「わあー」と歓声があがりました。

材料のバランスが良く、味付けも丁度良いとのこと。



「茶碗蒸しにぎんなんも入っているといいな〜」

春の訪れを感じさせる菜の花のおひたしは鮮やかな緑色。軟らかく煮てあるため、召し上がったいた



「茶碗蒸しにぎんなんが入っていたら、もつとうれしいです」と話されていました。また他の利用者の方は「おすしが二種類あつて豪華。それぞれ楽しめました。すみれ汁も美味しく頂きました」とうれしうでした。

お食事中の利用者の方にお話を伺うと、「全体的に「おすしが2種類もあつて豪華！」



太巻き寿司といなり寿司は大変好評でした。利用者の方々は「お寿司をほおぼり、いつもと違う食事を楽しんでいらつしやいました。午後には施設での節分行事が行われ、鬼の仮装をした方に向かって豆まきを楽しみました。」

春ですね・・・

ランドセルのお話



向上したこと、赤と黒以外の色も当たり前になっていった様です。

町のあちこちで、ピカピカの小学一年生が体に見合わないう大きなランドセルを背負っている姿のかわいいこと！

このランドセル、今はカラフルなだけでなく、ラメ入りや刺繍、キャラクター模様などもあり、時代の変化を感じさせます。

ランドセルはオランダ語「ランゼル」が語源。軍人さんの革製バックパックから始まって明治時代中期に学生カバンに変化、大正天皇が入学の際に献上を受けたことで浸透していき、その後高度経済成長期には全国に普及しました。平成十五年頃に大手スーパーで二十四色のランドセルを大々的に売り出したことや、製造過程で発色技術が

豆知識

ちにはどんな色が人気なのでしょう？ 女の子はピンク系、とりわけローズピンクが人気。反して男の子は、ここ数年間のランキングでもオーソドックスな黒が一位です。また側面についている、給食袋や体操着を吊り下げるフックは、現代になつてから追加されたものです。丈夫で機能的なランドセルですが、最近では外国の女優やモデルがおしゃれとして取り入れて話題になることも。また、アニメの影響も絶大で、外国人やアニメファンが購入することも増えているそうです：驚きですね。



丈夫で機能的なランドセルは、大人にも人気

平成30年度法人行事

八潮の品川総合福祉センターのお祭りは、平成三十年から年一回、十月に開催いたします。

より一層皆様に喜んでいただけるお祭りが開催できるよう検討を重ねています。

なお、例年行っていたバザー用の品物は回収できませんので、ご了承のほど、お願い申し上げます。

十月のお祭り、お目にかかれることを楽しみにしております。お祭りの詳細は、また、別途チラシにてご案内します。

開催時期：十月二十八日（日）
開催時間：午前十時半～午後二時半

場所：品川総合福祉センター本部
一階駐車場・ロビー・六階会場等。



「しなふくの窓」とは、品川総合福祉センターから見える四季折々の様子や普段は目に留まらない施設の素

敵なものを「窓」を通して写真で紹介していくコーナーです。今回は、四月ということもあり、品川総合福祉センターの屋上からみた桜の様子です。利用者の方、私たち職員も毎年この桜を見ながら、新しい方たちを迎え入れ、心新たに年度の始まりを実感しています。皆様も品川総合福祉センターを訪れた際には、ふと窓の外を見渡し、一面に広がる素敵な桜の絶景をご堪能ください。



品川総合福祉センター本部屋上から運河を望む